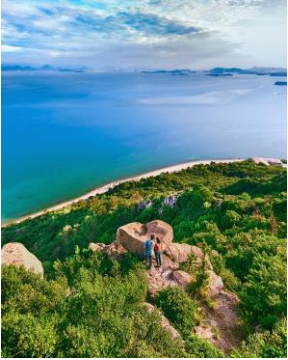


<p>自治体名</p>	<p>岡山県</p>	
<p>自治体の概要</p>	<p>人口：約 187 万人 面積：約 7114 km² 「晴れの国おかやま」のフレーズのとおり、1 年を通して晴れの日が多い。気候は、瀬戸内に面した南部の沿岸地域は温暖で、中国山地に隣する北部の山間地域は冬季に 1 m を超える積雪がある地域もあり、四季折々の景観やレジャーを楽しめます。 今回のツアー先である「岡山県美作市」は、県の北部に位置し、宮本武蔵生誕の地。 市内には、「F1 ドライバー：故アイルトン・セナ」も走った岡山国際サーキットや、美肌の湯として知られる湯郷温泉があります。 有害鳥獣の有効利用に取り組みのため、市営のジビエ（鹿・猪）肉処理場「地美恵の郷みまさか」があり、「国産ジビエ認証施設（第 25 号）」に認証されています。このブランド「美作ジビエ」は、東京にも流通されています。</p>	
<p>アクセス方法</p>	<p>羽田空港から岡山桃太郎空港まで約 1 時間（往復約 35,000 円） 東京駅から岡山駅まで新幹線で約 3 時間（季節変動有）</p>	
<p>主な特色 PR ポイント</p>	<p>観光は、日本 3 大庭園の「岡山後楽園」と、隣接する「岡山城」、白壁の町並みで有名な、倉敷美観地区、瀬戸大橋や他党日が一望できる「玉野・渋川」現存する日本最古の庶民のための公立学校「特別史跡旧閑谷学校」、県の北部には、湯郷温泉、湯原温泉、奥津温泉という美作三湯などが有名です。 交通網の強みがあり、鉄道では、山陽新幹線をはじめ、山陰には伯備線、四国方面には瀬戸大橋を通る瀬戸大橋線など、網目状に多くの鉄道があります。高速道路も県南部を縦断する山陽道、県北部を縦断する中国道、その両線をつなぐ岡山自動車道により、車移動も利便性が高い地域です。</p>	
<p>主な地域課題</p>	<p>岡山県では、2040 年（20 年後）の将来人口推計が、約 20 万人減少（1 割強）、65 歳以上の人口割合が約 35%になると推計しており、「人口急減」も予見されています。これに伴い、経済、産業活動の縮小、社会保障関係費の増加などによる、地方財政状況の悪化から、必要な県民サービス、特に中山間地域においては「地域生活の維持」ができない状況が危惧されています。 一方で新型コロナウイルス感染症を契機として、テレワークの導入などの働き方や、価値観の多様化が進み、地方移住に加え、ワーケーションや二地域居住等の新たなライフスタイルへの関心が高まっており、こうした時流を捉え、県外から人を呼び込む取り組みを強化する必要があります。 持続可能な地域生活の維持のために、次のことを主に取り組んでいます。 ・（集落機能低下問題）小さな拠点の形成促進、地域おこし協力隊の確保 ・（人材不足問題）DX の推進、ICT の導入による地域課題の解決 ・（東京一極集中問題）「転職なき移住」等、多様で柔軟な働き方へのアプローチ</p>	